

生物多様性保全等のためのモニタリング等事業費



【令和9年度要求額 584百万円（529百万円）】

生物多様性情報の収集・整備、提供・利活用促進等を通じ、生物多様性保全の取組を支える基盤整備を行います。

1. 事業目的

我が国の生物多様性の保全と持続可能な利用に係る効果的な取組に寄与するため、生物多様性国家戦略に基づき、各種施策に結びつく科学的な基盤情報や基礎的データの収集と整備、情報提供・利活用促進、普及啓発等を行い、もって、生物多様性に係る取組を支える基盤整備と国際連携の推進につなげます。

2. 事業内容

- (1) 生物多様性センター維持運営、整備 110百万円（81百万円）
標本資料等の収集管理、情報提供・利活用促進、普及啓発等。
- (2) 自然環境保全基礎調査 129百万円（126百万円）
全国的な観点から自然環境の現状と変化を空間的に把握し、基盤情報を整備する自然環境保全基礎調査を実施。
- (3) 地球規模生物多様性モニタリング推進事業 310百万円（290百万円）
各生態系の調査サイトにおいて、生物多様性の現状と変化を定量的・質的に時系列で把握する調査（モニタリングサイト1000）を実施。
- (4) 地球規模生物多様性情報システム整備推進 34百万円（32百万円）
上記(1)～(3)で収集・整備した情報を、インターネットを介し国内外へ広く提供する「生物多様性情報システム（J-IBIS）」を構築・管理運営。データのアクセサビリティの向上のためデータの標準化の推進。

3. 事業スキーム

- 事業形態 委託事業・請負事業
- 請負先、委託先 民間事業者・団体
- 実施期間 昭和48年度～

4. 事業イメージ

- (1) 生物多様性センター維持運営



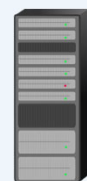
動植物標本等の収集・保管・活用、普及啓発等

- (2) 自然環境保全基礎調査
- (3) モニタリング1000

全国の生物多様性調査
モニタリング



- (4) 生物多様性情報システム



データ集約・提供